

橋本 功議員



村民中心の村政とは

橋本議員

- ① 村政運営の基本方針は住民との対話を進め村民中心の村政を貫いていくと言及されたが、具体的施策について明らかにされていない。村民の声を基本とし、信頼される村政を目指すには、公聴課を設置する事が必要不可欠と考えるが。
- ② 復旧・復興を最優先と公約されたが、執行率は60.36%にとどまっている。復旧・復興を全力で取り組む発言に被災者は期待している。村道においては完了率78.8%で今年度で工事完了する見込みとのことだが、進捗状況は。

村民の声に耳を傾けることが重要

村 長

- ① 村民中心の村政は村民の声に耳を傾けることが重要と考える。出張村長室での対話は村政を進めるうえで参考になる。施策に反映させ、村民の立場に立った行政運営に努める。

建設課長

- ② 現在事業完了している箇所は217カ所、83%であり、現在28カ所稼働している。本年度中の完成を目標にしている。

副村長に何を期待するのか

橋本議員

副村長の職務は村長を補佐し、各部局を指揮監督、必要な政策判断を行うとのことだが、業務を行う上での考えは。また、村長は補佐役としての副村長に何を期待しているのか。

事業の加速化に期待

村 長

田中副村長は県職員として38年間多くの部局を経験され、幅広い知識と見識を持たれている。職員の人事、

政策提言、県とのパイプ役を担って、事業が加速化するように手腕を発揮していただきたい。

副 村 長

4月早々に村内各地を見て回り、熊本地震の傷跡を目のあたりにし、改めて復旧・復興に最優先で取り組む必要を痛感した。職員一人が担当する業務の範囲と多さに気付かされた。職員の負担軽減や事務の簡素化を行えるところは改善改革に努めたい。村の将来像である「誰もが住みたい、住み続けたい南阿蘇」を目指し政策を進め、魅力ある村づくりに取り組みたい。

働き方改革の取組みは

橋本議員

働き方改革は長時間労働抑制策として残業時間の上限や、非正規労働者の同一労働同一賃金の改正法が2020年4月施行される。職員の時間外労働縮減は。

意欲・能力を発揮できる環境を整える

村 長

熊本地震による復興業務の増加から職員の超過勤務が非常に多く、体調を壊す職員もおり、業務に支障をきたし、住民サービス低下につながりかねない。国の準じた措置を講ずるため、超過勤務時間の上限について規則を制定し、4月1日から施行している。今後は時間外勤務や有給休暇の取得状況を見ながら職員が意欲、能力を発揮できる環境を整える。

	29年度	30年度
時間外労働把握方法	承認申請書提出	
全体時間外労働時間	13,781時間	7,801時間
時間外労働(月平均)	10時間	5.7時間
時間外を超えた職員数	23 / 115人	16 / 114人

その他の質問

- ・諮問団体の役割は